

学校教育目標	わたしがHAPPY あなたにHAPPY まちにもHAPPY 岩崎小 (知)ともに学び合い、粘り強く解決していける「考える力」を育てます。〈理性〉 (徳)自分も友達も大切に、「心豊かに生きようとする心」を育てます。〈人間性〉 (体)心と体の健康に関心を持ち、「自分から行動しようとする力」を育てます。〈自主性〉 (公)異学年や地域と豊かに関わり、「人のために役立とうとする意志」を育てます。〈社会性〉 (開)日本や世界の文化や歴史を学び、「社会変化や世界への関心」を育てます。〈国際性〉			
	創立 96 周年	学校長 島田 恒弘	副校長 菊池 卓史	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 317 人 主な関係校: 岩崎中学校、桜台小学校、瀬戸ヶ谷小学校、保土ヶ谷小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岩崎中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 豊かに関わり合い、自分のよさに気付く	岩崎中学校 岩崎小学校 桜台小学校 瀬戸ヶ谷小学校 保土ヶ谷小学校	自ら生活を切り拓いていくために、課題を見つけ解決しようとする 主体的な児童・生徒 ・ブロック主幹会を定期的に開催し、小中連携の取組を計画的に進める。 ・月1回のペースでブロック専任会を開催し、各校の様子などを情報交換し、児童 生徒理解を相互に進める。 ・ブロック内での授業参観や授業研究会などを通して、9年間で育てる資質・能力 の具現化に向けたカリキュラム・マネジメントを推進する。 ・児童生徒間での小中交流を活発化させ、相互理解を図る。

中期取組 目標	<p>○学校教育目標の具現化のために、効果的な学習指導(知・徳・体・公・開)と児童指導に取り組みます。</p> <p>○信頼される学校づくりのために、コンプライアンスを徹底し、安全管理や広報に努め、学校評価改善、幼保小連携、小中連携、地域連携に取り組みます。</p> <p>○効率的な学校運営を実現するために、人材育成、組織運営改善、業務改善、適切な労務管理を実行します。</p>
------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	意図的・計画的な指導のため①年間指導計画作成(カリマネ)②基礎学力定着の取組 論理的に考える力(プログラミング的思考力)育成のため③思考ツール活用や説明活動の充実 授業力向上のため④授業公開の実施⑤イワ・アップ(教員用図書、授業づくり講座) データに基づいた指導のため⑥学力・学習状況調査の分析と活用
担当	学力向上	
徳	豊かな心	多様な考えを認め合い寛容な心育成のため①グループワークの活用②YP(年2回)③人権学習プログラム(12月) 豊かな心の育成を目指して④道徳科の授業を確実に実施⑤道徳授業公開(年1回)⑥道徳研修⑦文化芸術・スポーツ活動の充実(音楽朝会、読書活動の充実、狂言体験、食育サッカー教室を毎年実施) 規範意識を高めるため⑧児童指導朝会(年10回)⑨みんなで守る10か条朝会
担当	人権・児童指導	
体	健やかな体	健康・安全意識を高め実践力をつけるため①全校学校保健委員会(年2回)②児童運動委員会による体力アップ集会③交通安全教室④避難訓練(毎月)⑤給食週間(1月)⑥放射線教育(1、4年)⑦薬物乱用防止教室(5、6年)⑧防犯教室(3年)⑨サイバー教室(5、6年)※主に犯罪につながる
担当	保健・安全	
公 開	児童活動・ESD	人のために役立とうとする意志を育てるため①たてわり活動②児童活動③実行委員活動④出前授業・体験的学習の活用⑤振り返る力をつける 社会変化や世界への関心を育てるため①教科・総合で食育を含むESD ②プログラミング③タイピング機会の確保④情報モラル教室(4年以上)※主にやりとりの注意点⑤福祉体験の系統的な指導
担当	児童活動・ESD・ICT	
いじめへの対応		①いじめ防止対策委員会(毎月)②いじめ防止アンケートと児童面談(年2回)③岩崎子ども会議(2回)④ブロック子ども会議参加と報告⑤関係機関と連携⑥いじめ防止基本方針見直し(年度末)⑦いじめ防止研修
担当	いじめ防止対策委員会	
特別支援教育		①岩崎ルーム計画・運営 ②不登校等児童・家庭とのつながり ③校内委員会(転籍、入級など) ④個別の支援計画・個別の指導計画作成 ⑤医療連携(コンサルテーション) ⑥副学籍交流(居住他校交流) ⑦特別支援教育・自閉症研修
担当	特別支援教育委員会	
信頼される学校づくり		①学校広報(ホームページ、すぐーる、学校だより)の充実 ②児童のやる気と保護者の満足を得られる授業参観・懇談会 ③学校説明会(年2回)④学校評価による改善と結果の公表⑤不祥事防止研修(月1回以上)
担当	副校長・教務部	
PTA・地域連携 学校運営協議会		地域とともにある学校とするため①学校運営協議会開催(年2回) ②PTA・学援隊連携して児童の安全な登下校の見守り ③スクールゾーン対策協議会(6月) ④保護者ボランティアによる行事等への支援 ⑤まちの行事への参加呼びかけ ⑥地域清掃での連携
担当	副校長・連携窓口	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①6年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、研究授業や教材研究を行ったり、校内人材や外部の方を講師として招いた研修会を開いたりして、月1回の活動を継続して行う。②教務会及び学年主任会を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営していく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。
担当	副校長・教務部	